

## NEWS RELEASE

平成 22 年 9 月 30 日

市光工業株式会社

ICK1010

### 市光工業株式会社

## インド・<sup>フィエム</sup>FIEM社と合弁会社の設立に関するプロジェクトを発足

～四輪及び二輪自動車用ランプ事業において協力～

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：品川区東五反田、代表取締役社長：河島 一夫、以下 市光工業）は、本日 9 月 30 日開催の取締役会において、インドの大手ランプ・ミラーメーカーである<sup>フィエム インダストリーズ リミテッド</sup>FIEM Industries Limited（本社：Kiriti Nagar, New Delhi、<sup>キルティ ナガル ニュー デリー</sup>会長兼社長：J. K. Jain、以下 <sup>ジェイン</sup>フィエム）と、四輪及び二輪自動車用ランプ事業における合弁会社の設立を前提としたプロジェクトを発足させ、基本合意書（MOU）を締結することを決議しました。

市光工業は、2005 年よりフィエムに対する技術支援を開始し、2009 年 4 月に両社は、市光工業によるフィエムの発行済株式 5%取得を含めた資本・業務提携に合意しています。今回両社は、インド国内に向けた四輪自動車ランプと、その他のアジア諸国向けの二輪自動車用ランプを製造・販売するため、新たにインド国内に合弁会社を設立することに合意しました。同合弁会社は、市光工業と自動車用ランプ事業において資本・業務提携している、フランスの<sup>ヴァレオ</sup>Valeo社（本社：Paris, France、CEO：<sup>ジャック アシェンブロウ</sup>Jacques Aschenbroich、）との関係を活用します。

両社は、2010 年 12 月中旬までに本合弁会社設立に関する正式契約を締結する予定です。合弁会社設立時の株式保有比率については、フィエムは 34%とし、両社は株式保有比率に応じて、合弁会社に必要な敷地や製造設備を購入するための資金、技術ライセンス及びノウハウ等を提供します。尚、本店所在地や代表者、資本金等の詳細については、今後両社間で協議してまいります。

インドをはじめとしたアジア地域は経済成長が著しく、自動車産業においても大きな需要拡大が見込まれています。市光工業では、このアジア市場の獲得に向け、国内外の経営資源を戦略的に配分する構造改革を実施しており、フィエムと協業してインドにおける生産・販売体制を構築することにより、事業のグローバル展開を加速させていきます。4 年後の 2014 年度には、アジア地域における売上高を、現在の 3 倍以上となる 200 億円に成長させることを目指します。

(参考)

<市光工業とは>

市光工業株式会社は、1903年に創業した、自動車用ランプ、ミラー、その他自動車部品の開発、設計、製造、販売を行う専門メーカーです。1932年には初代ダットサンにヘッドランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納式ドアミラーを製品化、現在も次世代の超低消費電力 LED ヘッドランプなど独自の製品開発を行っており、トヨタや日産をはじめとする国内全ての自動車メーカー及び海外メーカー、アフターマーケット向けに製品を供給しています。市光グループは、国内にテクニカルセンターを含め10カ所の拠点、中国やマレーシア等アジアを中心に6つの海外拠点を有しており、総従業員数は3,760名です。国内において、自動車用ランプで21%、ミラーで26%の市場シェアを誇っています。

フィエム  
<FIEM社とは>

フィエム インダストリーズ リミテッド

FIEM Industries Limitedは、1970年に設立された、インドの大手ランプ・ミラーメーカーです。ホンダやスズキ、ヤマハなどの現地二輪メーカーに製品を供給しているほか、自動車用部品事業にも進出し、印タタ自動車をはじめ、韓国・現代自動車や米 GM、伊フィアット等の現地自動車メーカーに取引を拡大しています。2009年度の売上高は、約30億ルピー（約57億円）です。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問い合わせ先

市光工業株式会社  
広報担当 金子  
TEL : 0463-96-1442

報道関係からの問い合わせ先

市光工業株式会社  
広報担当 金子  
TEL : 03-3443-7211  
(株)VAインターナショナル  
田中/亀有  
TEL : 03-3499-0016  
FAX : 03-3499-0017